



時局を種々の詐欺漢 儲け損ねて捕はる

東京市麹町區永田町二の三〇 戸主作次郎叔父當時住所不定 無職前科九犯前田三郎(三)は 満州から支那を股にかけて運 片の密輸をせざるもの、外昨 年は汽船に忍び香港に上陸せ んとするところを捕はれ領事 裁判で異國侵入に問はれ四ヶ 月の徒刑を受けた男であるが 時局を種々に儲けしやうつ もり、今五月十四日午前八時 頃平市白銀町四二平機關區 勤務目下北支〇〇省〇〇線〇 〇〇に勤務中の森田要之助氏 方留守宅に同氏の妻君を訪ね

自分は満鐵に勤務してゐる者 だが北支に派遣され森田君と も慶々會つてゐる同君は丈夫 だから安心して給へ尙ほ北支は 交通不便で手紙も小包も容易 に届かぬ若し頼むものがある なら持つて行つて上げやうと言 葉巧みに語つたが一文にもな らず引續いて同日午後一時頃 同地の元平機關區勤務で北支 〇〇領〇〇に在る長谷川義雄

好問村の 自治制記念式

六月一日舉行 石城郡好問村では自治制發布 五十週年記念式典舉行に關し 去る二十八日午後一時村會を 開き記念式を來る六月一日午 前九時から同村高等學校講堂に 於て舉行に決し當日は物故自 治功勞者十二名の慰靈祭を其 の遺族を招きて營みたる後 各種功勞者の表彰をなす管だ が表彰されるもの大休五十名 に達する見込みで記念品代は 二百五十圓を要すると

債米定期共販

石城郡販賣聯合會に於ける債 米の定期共販は明後一日行は れるが今回の出荷は千俵を越 える見込みで相場は前回に比 し大した動きがなからうと見 られてゐる

商業學校の 建築委員

平商業學校の移設建築は市内南 裏の新敷地埋立を完成し七萬 九千六百圓の起債も決まつた ので急上建築に着手の筈であ るが同委員は左記の如くであ

社告

過般の強震にて架上の活字を振 落され其整理復舊の爲め遺憾な がら休刊致して居りましたが漸 く完整尙ほ斯る障害を再びせざ るやう鞍形のケース台を改造い たし本日より従前の通り發行出 來得る様になりました、數日の 休刊を御申譯いたしました、 五月三十日 新いわき新聞社

氏方留守宅を訪ね養父忠藏氏 にも同様の手段で何物かを騙 らうとしたが未遂に終り平署 に檢舉されて取調への結果同 人は新潟縣から宮城縣、仙台 市及び本縣では福島市の數ヶ 所を荒してゐることを自白し 詐欺で今三十日送局された

日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞 日刊休日新聞

戦利品展

東京日新聞に於ける今次事 變の戦利品巡回展は來六月四 日午後一時から平市會事堂 で開催一般の觀覽に供すると

青年學校視察研 究會

青年學校の視察研究會は明三 十一日石城郡植田町菊多公民 學校に於て行はれる

海兵志合格

明日平露出發 濱通り三郡に於ける海軍志願 兵合格は左計の如く九十八名 で來六月一日入團の筈である が全員平市集會明三十一日午 前七時四十八分平露發で出發 する

見習技工の 金冠泥

平市字南町五六齒科醫院織田 豊太郎氏方技工見習市内平窪 鯨岡字中根一八松崎松雄(三) は昭和十年七月から同院に雇 はれてゐたが去る二十日自家 の金冠及び金約七俵時價八 十一圓を窃取し他に寶物現金 に換えて遊興費消せるを其筋

に探知檢舉されて取調への結 果右の外前後十數回に亘つて 時價六十圓の同窃盜あるを自 ると

戦地 御期待に添ふ様な 戦功樹てぬが残念

平市下平窪出身 矢吹敏夫 謹啓、時下春暖の候と相成 り各位益々御清業の由大慶 至極に存じます、出征以來 意外なる御疎遠に打過ぎ失 禮の段何卒御容赦下さい、 留守宅は種々御配慮に預り 且つ慰安を賜はり厚く御禮 申上げます、降つて小生事 部隊派遣先〇〇省と〇〇省 の境界たる津浦線〇〇地よ り〇方〇〇地點にて慈父と 仰ぐ部隊の指揮の下に 皆々様の御加護により益 々元氣旺盛にて活躍致し居 りますから御休心下さい、 願ひれば客年皆々様に歡呼 の聲に送られて一略征途に ついて早や八月月餘、其の 間皆々様の御期待に添ふ様 な戦功も樹てずに残念に思 ひ居ります、しかし幸ひに も頑健に候へば必ずや今後 の戦闘にこそはと一働きを 致し度皆々様の御期待の萬 分の一にも添えたい覺悟で 居ります、徐州の陥落も目 睫に迫り敗戦に戦戦を續け てゐながら「ウハ」の空にて 豪語する蔣介石の降伏も遠 からざるべしとも推察致さ れますが我々は何所までも 長期に堪へ得る覺悟、今後 如何に戦ひが長期に亘ると も飽くまで自己の本分に邁 進致し皆々様の御後援と相 まつて永遠に明朗なる東洋 平和を建設いたす決心で居 ります、先づは御無音の御 詫かたぐ御禮まで、皆々 様の御健康と御幸福を御祈

花札賭博

石城郡内郷村の宮字竹の内三 六等城發偵探隊夫山本泰三郎 事金昌植(元)万座敷に於て去 る二十七日午後七時半頃から 金昌植外同地同偵探隊伊東歌 吉(三)同平太郎三三雜貨商吉 川安一事基玉(三)同じく平 太郎金山飯場方坑夫清水政吉 事金永珍(四)同竹の内三六等 城發偵探隊夫合符(三)五名が現 金賭けの花札賭博に無中にな つてゐる午後十時半平署員に 踏込まれて傍らに見てゐた平 太郎居住坑夫山本仙吉事具君 喜(三)共々檢舉された

自轉車の酔漢 踏切で重傷

石城郡内郷村の御台境牛乳搾 取業くら長男岩波源藏(三)は 昨二十九日夜九時頃平市長橋 時知人宅で飲酒泥酔自轉車に 乗る途上御台境地内鐵道踏 切に差かゝつた際列車進行に 切に差かゝつた際列車進行に 氣つかず御台境に差かゝつた 手足を轢断され傍らの堀の中 に倒れて虫の呼吸であるところ を今三十日朝四時頃通行人 に発見された

ベルトで即死

平市正町難波製紙工場職 工市内湖澤澤安田美一(二)は 去る二十八日午後五時半頃同 工場内で作業中ベルトに頭部 を巻き込まれて即死した

幼兒の溺死

石城郡好問村の藤谷町鈴木義 一長男善郎(三)は隣村高久村 の下高久に居住する祖父の鈴 木善吉方へ遊びに行き同家附 近に於て遊んでゐた去る二十 八日午後四時頃池に墜落して溺 死した

女子事務員、看護婦、募集 回女子事務員一名(受付及會計係) 高女卒業生、給十五圓以上、住込み 回看護婦五名(給十圓以上) 右大至急募集致します 茨城縣助川町新道 常陸 助川病院 電話 五一 番

中野齒科醫院 中野 惠次 敬具 平市田町

謹告 妻の不幸に遇ひ永らく休養状態を續 け御迷惑相掛け恐縮罷在候處本月五 日より平常通り診療に従事一層精進 可仕候間何卒倍舊御引立の程奉懇願 候 敬具

惣三郎儀病氣療養中の處昨二十 九日午後八時死去致し候間此段 御通知申上候 追て葬送の儀は明三十一日午後二時自宅出棺 大寶寺に於て佛式に依り相替可申候 昭和十三年五月三十日 父 只野 忠 康 外親戚一同

家庭方

自家用醤油の造り方(上)

農林省副課長 内海技師の述

醤油の製造は三月から四月を適期とされてゐる、小麦は炒がうした後荒割をやり兩者を半々に配合し種麩を加へてよく混和したる後麩蓋に盛り込み保温した室に入れて約四日目に仕込み桶に仕込む、その間に仕込み桶に仕込む、その後時々もろみを攪拌し一ヶ月後に熟成させる、布袋に包んで壓搾器にかけて汁をしぼり、攝氏七十度で火入れをやり、おろぎを後上澄液を分離したものが生揚げである、この製造工程中自家用醸造の場合の注意事項を二三述べて見やう

小麦を炒がうするのは製品に一種の芳香をつけるのと着色をよくすること、菌糸の發育をよくすることなどの爲めであつて炒がうの程度は粒の外皮に小黒點が散在しかつ龜裂が出来て澱粉質が白色に露出され粉子は丸く膨れ上つたときがよい、また別な判断としては小麦をいり釜に入れると間もなく白煙が出るが攪拌中更に急激に煙し暫らくすると白煙が出なくなる、このときが丁度よらしい、また炒がうの温度は釜の底が少し赤味を帯びるほどに熱せられたるときがよろしい、次に炒がう小麦は荒割をするのであるがこの程度もまたよろしい、條件によつて異なるが大粒粉子の三つ割から六つ割ぐらゐが適度であると考へられる、香

來は石臼が使用されたが最近ハ穀類の粉碎器が利用されてゐる。

藤沼醫院

平市紺屋町 電五〇七

スベインG・H・N 元詰 ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・20

飲婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

日	月	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

特にマルトモのランチは... 材料のまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を進め出来たので御座客様からいつも御好評を戴いて居ります

RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ

社員招聘

一、外務員 若干名

(1) 年令二十五歳以上五十歳以下ノ男子ニシテ
身体壯健、身元確實、努力ノ人、
希望者ハ履歴書待參來社ノコト、
給料手當共ノ他面談ノ上、

右業務擴張ノ爲メ優遇招聘ス

業一公債債券 平市銀街十八番地
業二現物賣買 日本商事
目三金 融 株式會社平支部
電話七三六番

醫學博士 江尻伊三郎
平市田町 電話六九一

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

院醫尻江

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話六九一

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二

平市新川町「電話三六九番」

レストラン サロン

町田平 二五三電

和洋食 高橋屋

高橋屋 高橋屋

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

平市田町 電話五二三番

院長 醫學士 高久忠

院 高久病院

便利で 經濟な 日下家政婦會の 派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正です。何をお任せしても安心です。

平日田町十八(西村屋敷町)

會長 日下すい子 電話七二三番

夏の帽子 麥一文字子供帽

パラソル 二重張と晴雨兼用傘

ツルヤ 平電一四〇

今般開院として高橋俊幸氏を招聘し「内臓外科」一般外科皮膚泌尿器科の診療に従事せしむ

院長 醫學博士 鈴木定藏 (電話六四一)

副院長 醫學士 鈴木定藏

部長 鈴木定藏 高橋俊幸 佐藤幾要 鈴木定藏 高橋俊幸 鈴木定藏 高橋俊幸 鈴木定藏 高橋俊幸

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に従事す(急患は此に限らぬ)